

取扱説明書

DAYTONA

S17249①/⑩

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

National cycle Custom Heavy Duty Windshield カスタム ヘビー デューティー ウインドシールド	適応車種	商品NO.
	REBEL250 ('17~'20) REBEL500 ('17~'20)	17249


■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。




※商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

▲警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 可燃性注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

▲警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は太陽光を直接当てると、小さな領域に集光する光学的特性があります。そのためごくまれなケースですが、車体の他の部分に損傷を与える場合がありますので、直射日光があたったままの状態ですら駐車をしないでください。 ※右イラストの様に車体後方から直射日光があたる状態が最も集光の影響を受ける状態となりますので、ご注意ください。 ※やむを得ず直射日光があたる場所に駐車する場合は、シールドに傷の付きにくいタオルなどを掛けて直射日光があたらないようにシールド全体をカバーしてください。 <p>上記警告のガイドラインに基づいて、不注意によるいかなる損傷に対しても弊社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガソリンやブレーキ液、アセトン、シンナーなどの化学物質がウインドシールドに付着しないようにしてください。付着すると細かいヒビやキズ、クモリ、変形、ワシなどが生じます。付着してしまった場合は直ちに水で洗浄してください。 本商品は長期間使用すると紫外線の影響や経年変化などによりウインドシールド本体が変色やクモリが発生する場合があります。前方の視界が悪くなった場合はそのまま使用せず、必ず新しいウインドシールドと交換してください。また、車両の転倒やその他の影響によりウインドシールドにキズやクモリ、歪み、ワシなどが発生した場合も同様に交換してください。 	<p>【危険！NG】</p> 
 実施	<ul style="list-style-type: none"> 走行前に各部の取付状態を点検（ウインドシールドにガタはないか、風圧によって動くことはないか、ボルトやナットの緩みがないか）し、異常がある場合は必ず増し締めしてください。 車両装着後は走行フィーリングが変わりますので、必ず乗車間隔を確認してください。 暴風時や降雪時など危険な状況下では走行しないでください。 強風時は走行安定性が悪くなり、風の影響も受けやすく、降雨時は視界が悪くなりますのでスピードを控えて安全運転を行なってください。 	


注意


禁止

- ・ウインドシールド清掃の際には、洗車ブラシなどの使用や乾いた布での乾拭きはしないでください。キズが付き視界性が悪くなります。また、コンパウンドなどの研磨剤入りの磨き剤も使用しないでください。
- ・ウインドシールド装着時は風などの影響を受けやすく、不安定な場所に駐停車すると転倒の恐れがあります。また、土の上など路面の柔らかい場所や傾斜した場所には駐停車しないでください。必ずアスファルト等の固く安定した平坦地に駐停車してください。



実施

- ・適合車両以外の車両には使用しないでください。
 - ・作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させた上で行なってください。
 - ・本商品にはエッジやバリなどがある場合がございます。作業前には必ず各部の確認を行ない、エッジ部やバリを取り除き、手の保護を行なってください。
 - ・ウインドシールドが灯火類を遮っていないか確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。
 - ・ハンドルを左右に切り、ウインドシールドが車体に接触していないか確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。
 - ・ブレーキレバー、クラッチレバー及びスロットルが正常に作動することを確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。
 - ・車体カバーを使用する場合は、ウインドシールド付き用のカバーを使用して、直射日光が当たらない風通しの良い場所に駐車してください。
- ※サイズが合わないカバーを無理に使用するとウインドシールドが変形する場合があります。また、高温下で放置した場合、カバー内部が高温となり、ウインドシールドが変形する場合があります。
- ・ウインドシールドを清掃する場合は、水を掛けながら柔らかい布かスポンジで優しく洗い、かたく水をしぼった清潔なタオル等で優しく拭きあげてください。(中性洗剤の使用は可能)



可燃性注意

- ・本商品はポリカーボネイト製です。走行直後のエンジンやエキパイ、マフラー付近に近づけると変形します。また、ポリカーボネイト自体も可燃性素材ですので火に近づけないでください。



その他

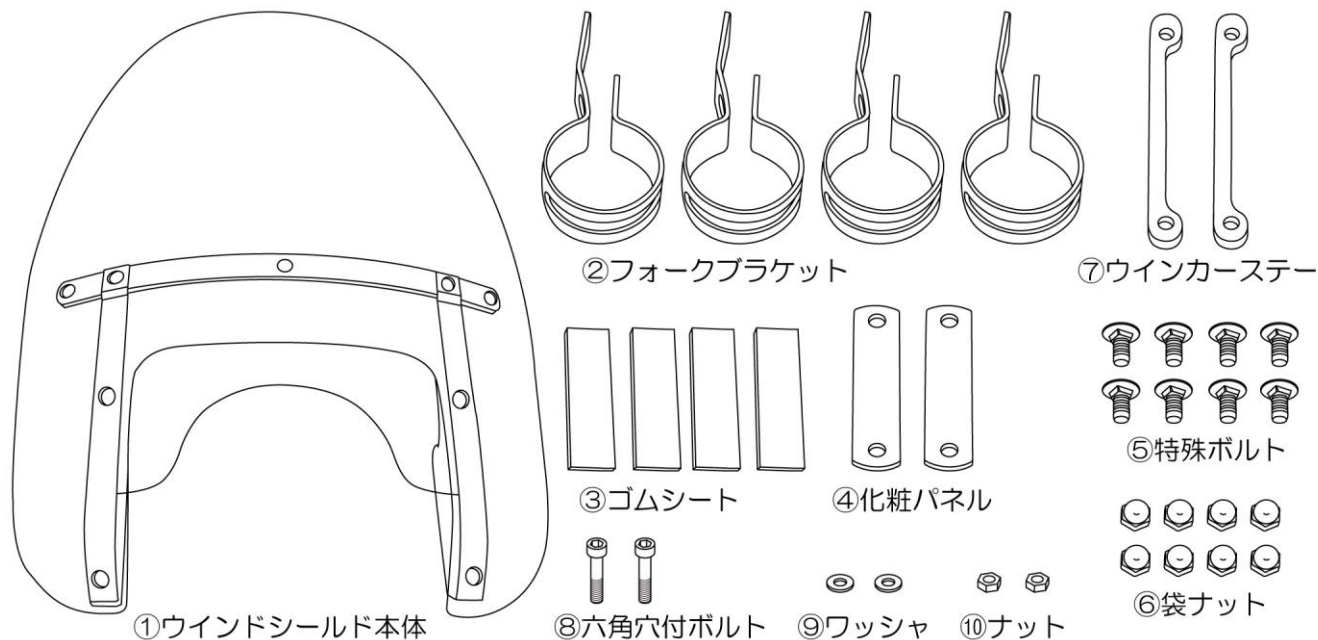
- ・この商品を取り付ける際は、車体にキズがつかないようにウエスなどで保護してから作業してください。
 - ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。
 - ・本商品の取り付け時に外した純正部品は紛失しないように十分にご注意してください。
 - ・本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- ・【商品の手入れ方法】
⇒水をかけて表面のほこりや砂を洗い流した後、柔らかいスポンジ等で水と中性洗剤を含ませてやさしく洗ってください。洗剤は水で洗い流してください。シンナーや、溶剤を含む化学薬品等の使用は、変形、歪み、破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

本商品の特徴

- National Cycle 社で大人気の大型シールド（最大寸法約 H：530xW：475mm）
- REBEL のウイークポイントである防風性を最大までアップし、快適なクルーシングを提供します。
- 素材には耐衝撃に強く弾力性のあるポリカーボネート製を採用。
- ウインドシールドは汚れやキズから守るハードコーティング仕様。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ウインドシールド本体	530x475	1	⑥	袋ナット		8
②	フォークブラケット		4	⑦	ウインカーステー		2
③	ゴムシート		4	⑧	六角穴付ボルト	M6x10	2
④	化粧パネル		2	⑨	ワッシャ	M6	2
⑤	特殊ボルト		8	⑩	ナット	M6	2



必要工具

【REBEL250（'17～'19）】

- L字型六角レンチ（ボールポイントタイプ）5mm
- コンビレンチ 10mm/14mm
- ヘックスソケット 8mm
- ハンドル
- トルクレンチ（トルク調整範囲～40N・mをカバーできるレンチ）

【REBEL250（'20～）】

- L字型六角レンチ（ボールポイントタイプ）5mm/6mm
- コンビレンチ 10mm/14mm
- ヘックスソケット 8mm
- ハンドル
- トルクレンチ（トルク調整範囲～40N・mをカバーできるレンチ）

取付方法

【作業前の注意事項】

- 本取扱説明書は REBEL250（17）と REBEL250（20）の車両をベースにご説明しております。車両年式や排気量の違いにより、異なる取り付け方法になる場合がございます。この車両以外には本取扱説明書を参考にお取り付けをお願いします。
- 純正部品の取り外し、取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所でフロント&リヤスタンドなどを使い車両を安定させ、車両の転倒や怪我などに十分注意して作業を行ってください。

【取付方法の選択】

O1. 下記を参考に取付方法と各年式に合わせたページを選択してください。

■REBEL250（17～19）：取付レベル EASY：【取付方法A】⇒P04 へ

※②フォークブラケットに負荷を掛けた取り付けになります。

■REBEL250（17～19）：取付レベル HARD：【取付方法B】⇒P07 へ

※②フォークブラケットに負荷を掛けない取り付けですが、フロント&リヤスタンドの用意やフロントフォークの取り外し作業があります。

■REBEL250（20）：取付レベル EASY：【取付方法C】⇒P10 へ

※②フォークブラケットに負荷を掛けた取り付けになります。

■REBEL250（20）：取付レベル HARD：【取付方法D】⇒P13 へ

※②フォークブラケットに負荷を掛けない取り付けですが、フロント&リヤスタンドの用意やフロントフォークの取り外し作業があります。

【取付方法A】REBEL250（17～19）【EASY】

A01. フロントブレーキレバー握った状態にしてフロント側を固定させます。

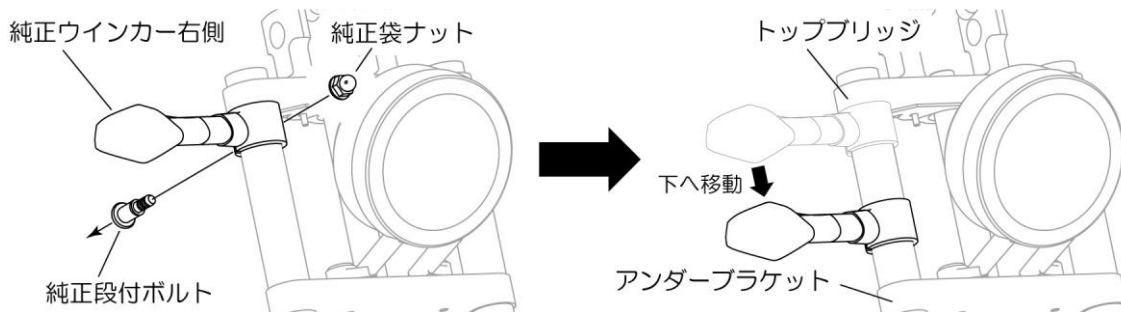
※別売のフロントブレーキロックのご使用をおすすめ致します。

A02. ハンドルを左へ全開にきって車両を安定させます。

※フロント側が作業中にフラつかない様にハンドルをきっております。

作業状況に合わせ作業しやすい方向へハンドルを左右にきってください。

A03. フロント左右の純正ウインカーを固定している純正段付ボルトと純正袋ナットを取り外し純正ウインカーを純正アンダーブラケット側へ下げて仮組みします。



A04. 下イラスト A を参考に③ゴムシート4枚を長さ 85mm 程度にカットします。

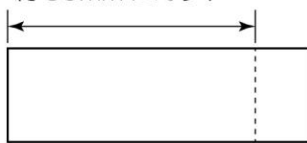
A05. 下イラスト B を参考に②フォークブラケット（4個）をフロントフォークに入る幅まで開きます。

※開き過ぎにご注意ください。②フォークブラケットのメッキ割れや、金属疲労による破損に繋がります。

A06. 下イラスト C を参考に③ゴムシートを②フォークブラケットに取り付けします。

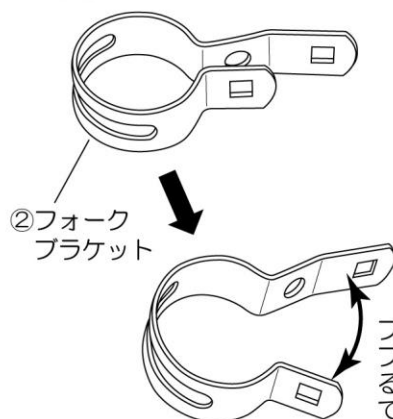
【A】：ゴムシートの加工

約 85mm にカット



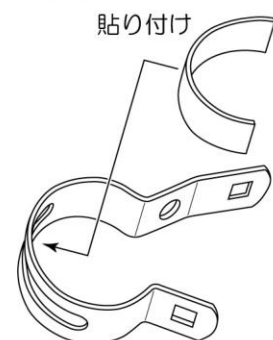
③ゴムシート

【B】：フォークブラケットの加工



②フォーク
ブラケット

【C】：AとBを組み付け 貼り付け



③ゴムシートを②フォークブラケット内側に貼り付けます。

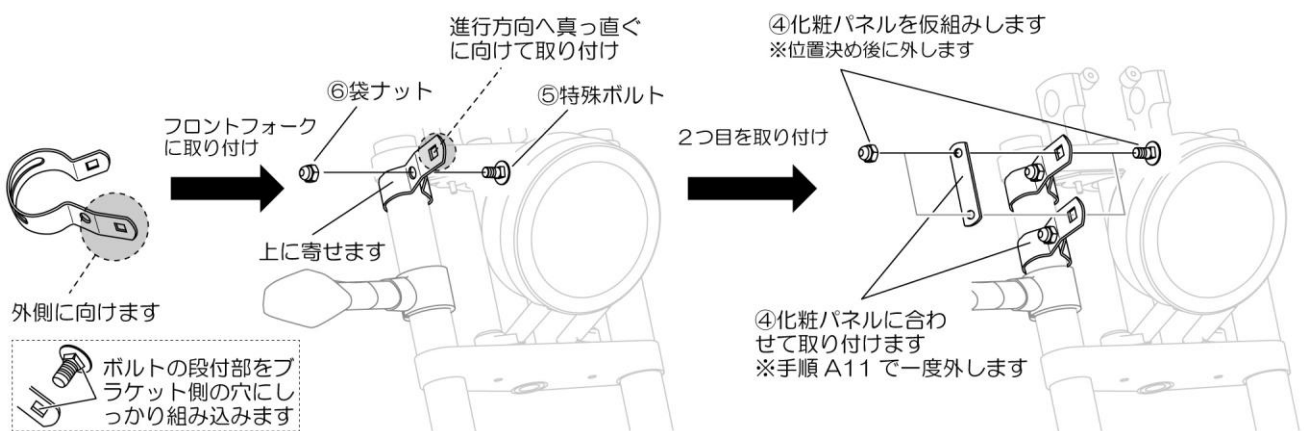
A07. ⑤特殊ボルト（8本）に銅コンパウンドなどを塗布します。

※ボルトの焼き付き防止用として塗布します。



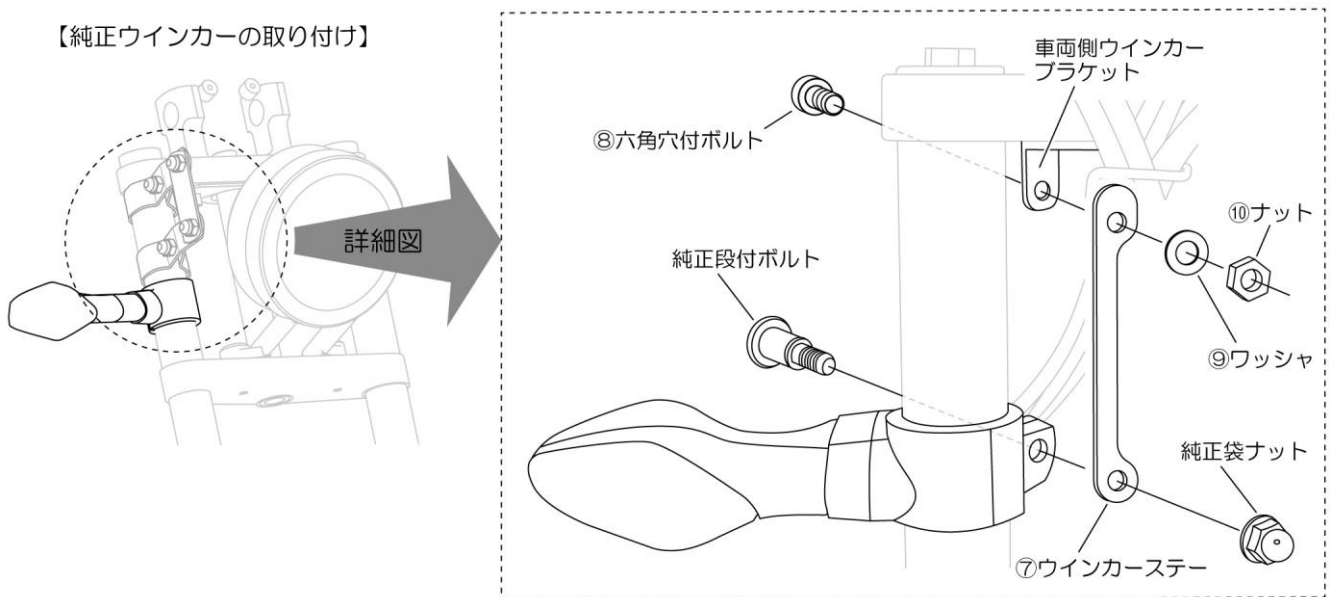
A08. 手順A06 で用意した②フォークブラケット&③ゴムシートを向きに注意して左右のフロントフォークへ2個ずつセットし⑤特殊ボルトと⑥袋ナットを使って仮組みします。この時、④化粧パネルも使って2つ目の②フォークブラケットの上下の間隔も同時に調整して仮組みします。

A09. ②フォークブラケットの向きを進行方向に対して真っ直ぐに調整して、フロントフォークへ固定します。



A10. 手順A03 で仮組みした純正ウインカーを⑦ウインカーステーと⑧六角穴付ボルト、⑨ワッシャ、⑩ナット、純正段付ボルト、純正袋ナットを使用して車両に取り付けます。

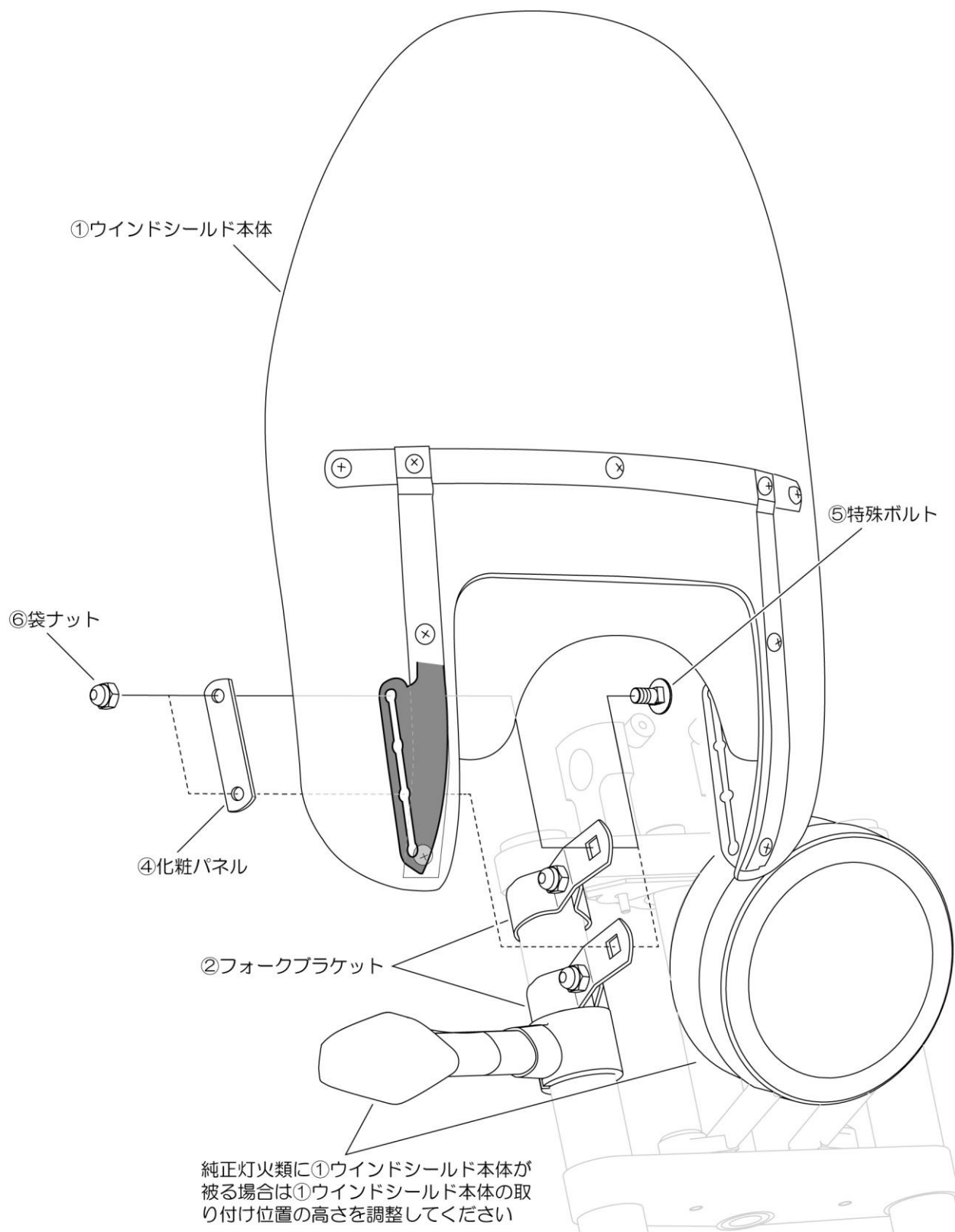
【純正ウインカーの取り付け】



A 11. 仮組みした④化粧パネルを外します。

A 12. ①ウインドシールド本体と④化粧パネル、⑤特殊ナット、⑥袋ナットを使い②フォークブラケットへ仮組みします。

※②フォークブラケットと①ウインドシールド本体の位置が合わない場合は、各部を緩めて位置の調整を行なってください。



A 13. ①ウインドシールド本体が灯火類に被らない位置で調整してください。

A 14. 各部を確実に締め付けて、①ウインドシールドが動かないこと、その他に異常がないことを確認し、作業は終了です。

【取付方法 A : 完了】

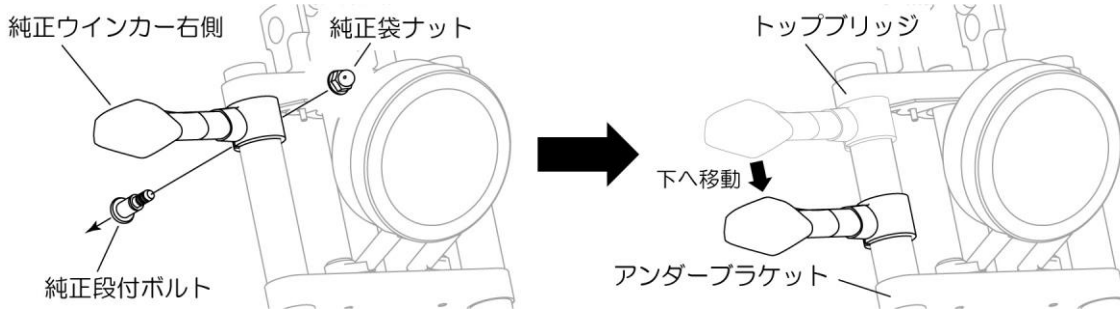
【取付方法 B】 REBEL250 (17~19) 【HARD】

B01. フロントブレーキレバー握った状態にしてフロント側を固定させます。

※別売のフロントブレーキロックのご使用をオススメ致します。

B02. フロントスタンドとリヤスタンドを使って車両が動かない様に固定してください。

B03. フロント左右の純正ウインカーを固定している純正段付ボルトと純正袋ナットを取り外し純正ウインカーを純正アンダーブラケットまで下げて仮組みします。



B04. 下イラスト A を参考に③ゴムシート4枚を長さ 85mm 程度にカットします。

B05. 下イラスト B を参考に③ゴムシートを②フォークブラケットに取り付けします。

B06. 下イラスト C を参考に⑤特殊ボルト (8 本) に銅コンパウンドなどを塗布します。

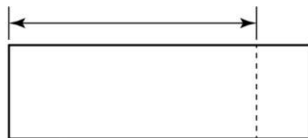
※ボルトの焼き付き防止用として塗布します。

【A】: ゴムシートの加工

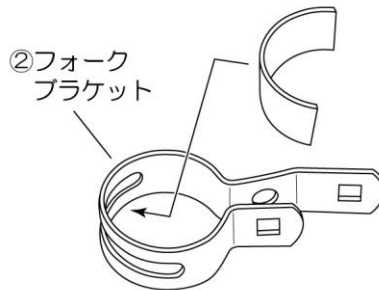
【B】: フォークブラケットの加工

【C】: ネジ焼き付き防止

約 85mm にカット



③ゴムシート



③ゴムシートを②フォークブラケット内側に貼り付けます。



【下イラストを参考に①～⑤の作業を行なってください】

B07. フロントフォーク右側を固定している①②の純正ボルトを緩めるとフロントフォークが動くようになります。

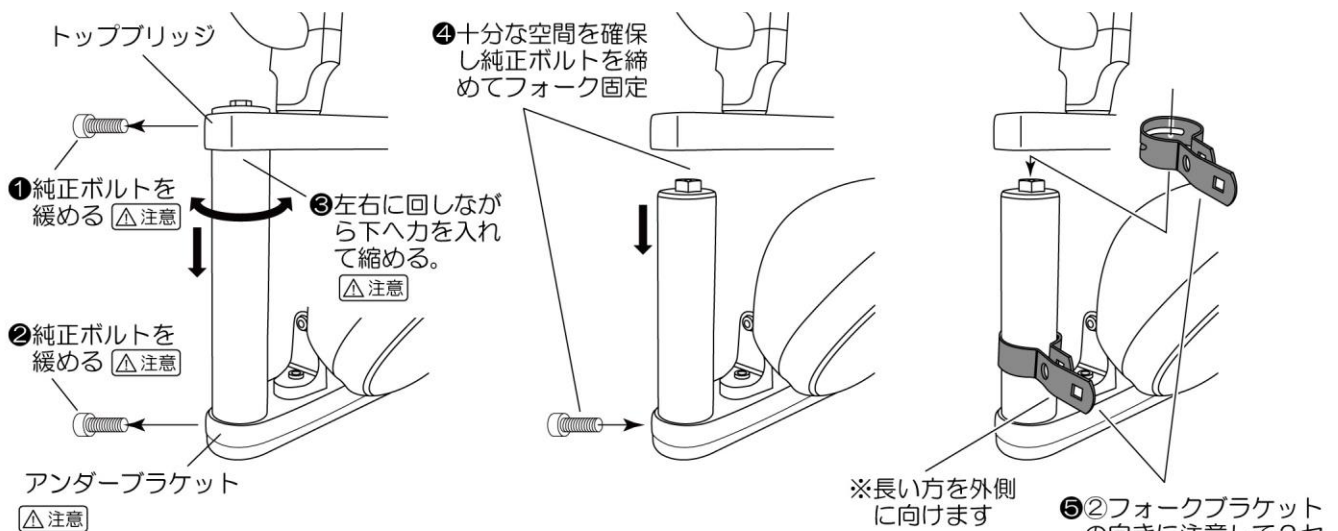
※ボルトを緩める際に車両がバランスを崩す恐れがございます。車両を転倒させない様に十分ご注意ください作業を行なってください。

※左側フロントフォークのボルトは同時に緩めないでください。フロントフォークが車両から脱落してしまい危険です。

B08. ③の作業を行ない、フロントフォークを縮め②フォークブラケットが入る空間まで縮めて④の純正ボルトを固定します。

※フロントフォークを縮める作業は力作業となります。手を挟んだり、車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。

B09. ⑤の作業を行ない②フォークブラケットの向きに注意して、フロントフォークへ2セット組み込みます。



この作業は車両のバランスを崩しやすい作業になります。特に①～③の作業は車両のバランスを崩しやすくなります。転倒には十分に注意して作業を行なってください。また反対側のフロントフォークは同時に絶対緩めないでください。

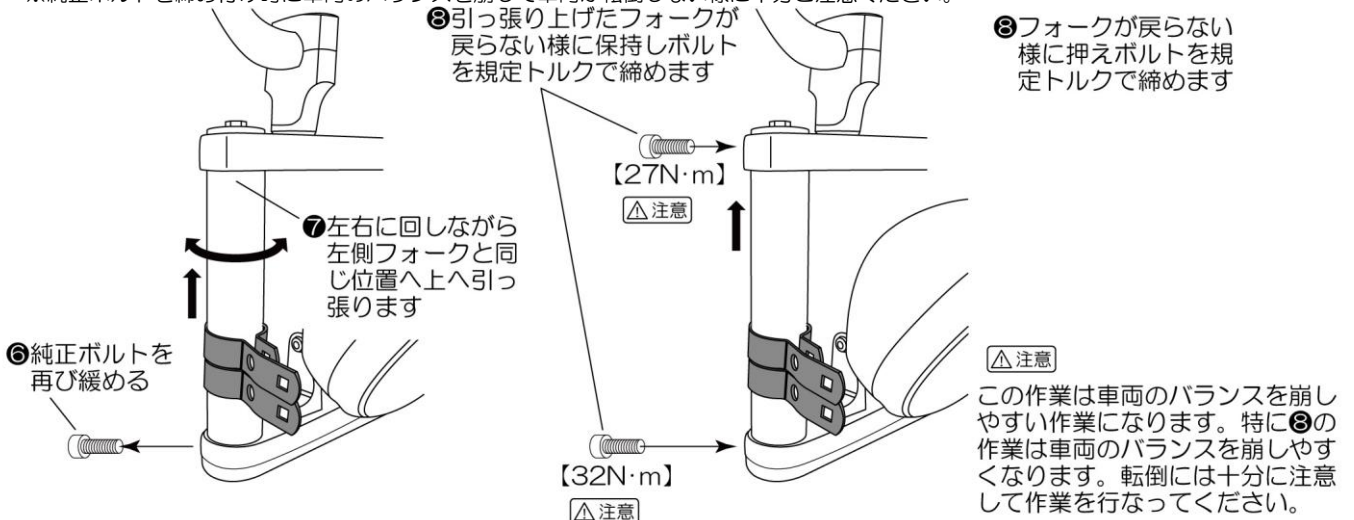
【取付方法B】

【下イラストを参考に⑥～⑧の作業を行なってください】

B10. 手順B08の④で固定した純正ボルトを緩めます。

B11. ⑦の作業を行ない、フロントフォーク左側と同じ位置に来るように上へ引っ張り、⑧の純正ボルトを規定トルクで締め付けます。

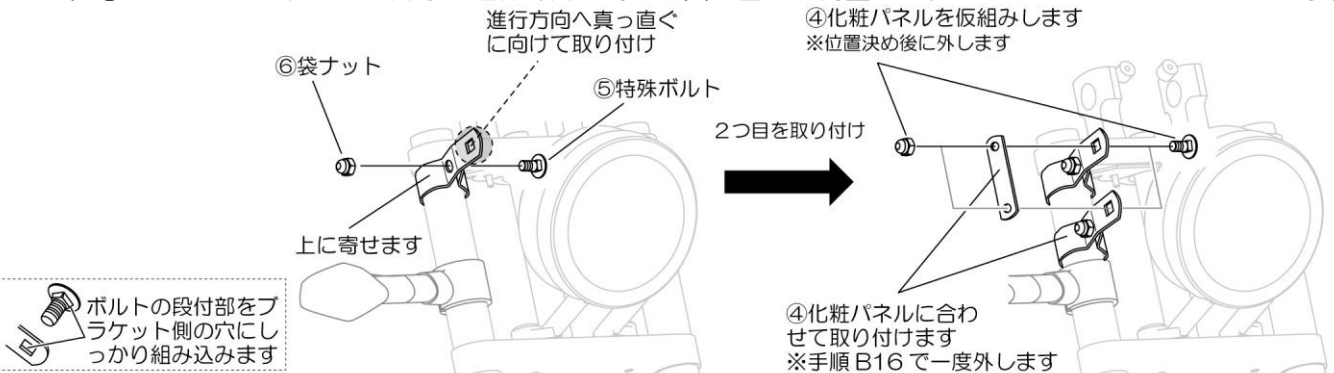
※フロントフォークを引っ張る作業は力作業となります。車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。
※純正ボルトを締め付け時に車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。



B12. 左側も同様に手順B07～手順11までと同じ作業を行ない、②フォークブラケットを取り付けてください。

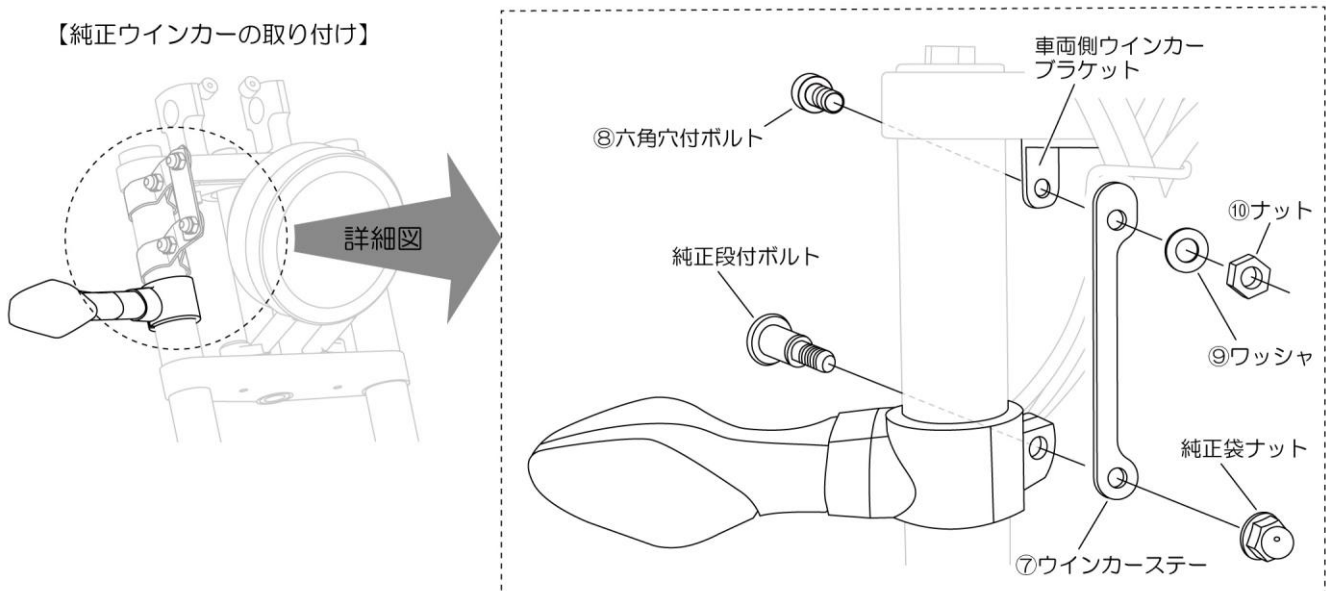
B13. 手順B06で取り付けした②フォークブラケット&③ゴムシートを向きに注意して左右のフロントフォークへ⑤特殊ボルトと⑥袋ナットを使い仮組みします。この時、④化粧パネルも使って2つ目の②フォークブラケットの上下の間隔も同時に調整して仮組みします。

B14. ②フォークブラケットの向きを進行方向に対して真っ直ぐに調整して、フロントフォークへ固定します。



B15. 手順B03で仮組みした純正ウインカーを⑦ウインカーステーと⑧六角穴付ボルト、⑨ワッシャ、⑩ナット、純正段付ボルト、純正袋ナットを使用して車両に取り付けます。

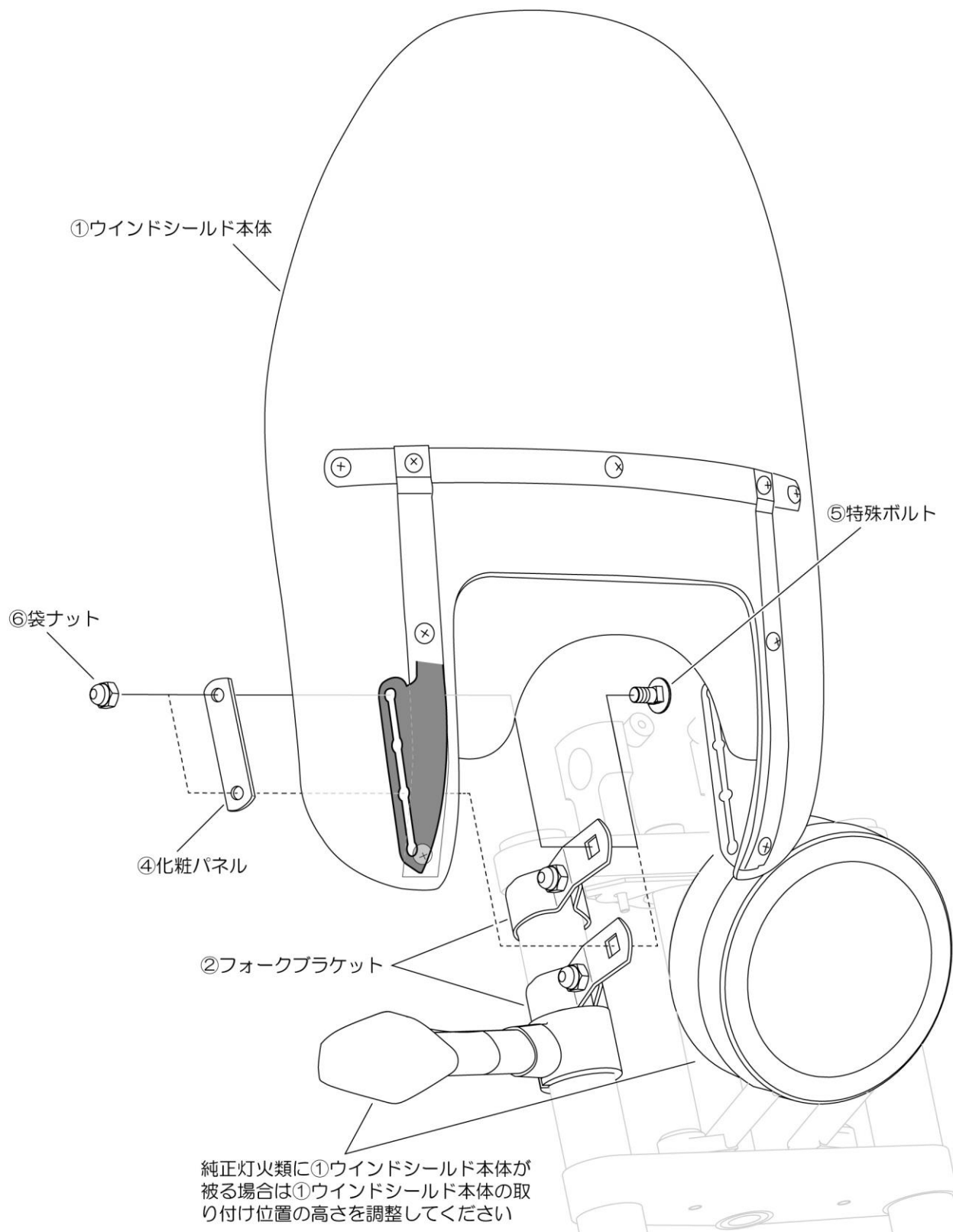
【純正ウインカーの取り付け】



B16. 仮組みした④化粧パネルを外します。

B17. ①ウインドシールド本体と④化粧パネル、⑤特殊ナット、⑥袋ナットを使い②フォークブラケットへ仮組みします。

※②フォークブラケットと①ウインドシールド本体の位置が合わない場合は、各部を緩めて位置の調整を行なってください。



B18. ①ウインドシールド本体が灯火類に被らない位置で調整してください。

B19. 各部を確実に締め付けて、①ウインドシールドが動かないこと、その他に異常がないことを確認し、作業は終了です。

【取付方法 C】REBEL250 (20) 【EASY】

※⑦～⑩の付属部品は使用しません。

C01. フロントブレーキレバー握った状態にしてフロント側を固定させます。

※別売のフロントブレーキロックのご使用をオススメ致します。

C02. ハンドルを左へ全開にきって車両を安定させます。

※フロント側が作業中にフラつかない様にハンドルをきっております。

作業状況に合わせて作業しやすい方向へハンドルを左右にきってください。

C03. 下イラストの①～③の作業を行ない、純正ウインカーの配線を純正ヘッドライトから取り外します。

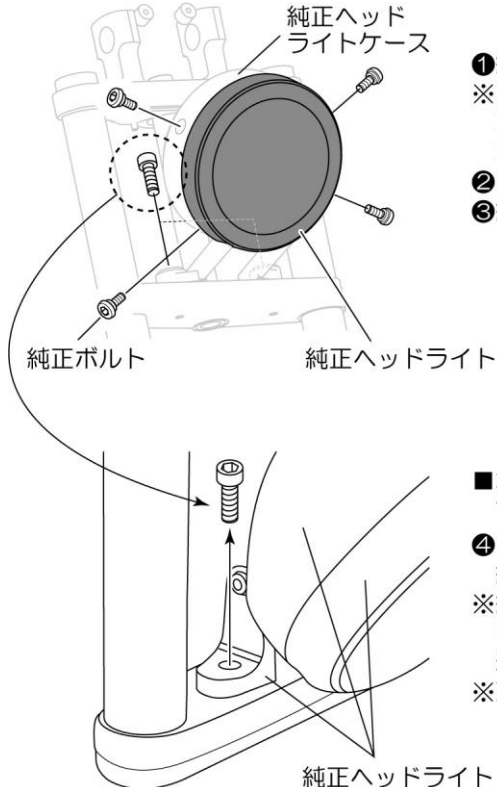
※純正ウインカー配線を取り外したあとは、純正ヘッドライトを元の位置へ仮組みしてください。

C04. 下イラスト④を参考に純正ウインカーの取り外し作業を行ないやすくするために、純正ヘッドライト ASSY を外します。純正ヘッドライト ASSY はキズが付かない様にウエスなどで覆い、邪魔にならない場所へ固定してください。

※本作業を行わずに純正ウインカーの取り外しができる場合は次の手順へ進んでください。

※本作業を行なった際は作業終了後にヘッドライトの光軸を調整してください。

※純正ヘッドライト ASSY はキズが付かない様にウエスなどを巻き保護してください。



①純正ヘッドライトを外しウインカーコネクタを外します。

※コネクタ：ウインカー電源 = 水色 (右用)

コネクタ：ウインカー電源 = 橙色 (左用)

コネクタ：ポジション電源 = 白色 (2個)

②ウインカー配線をヘッドライトケースから抜きます。

③純正ヘッドライトを元の位置へ仮組みします。

■本作業は純正ウインカーの取り外しを、しやすくするための作業です。不要な場合は次の手順へ進んでください。

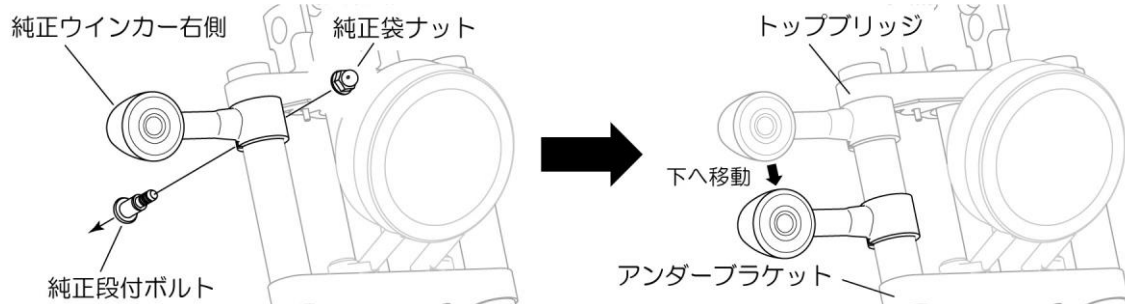
④アンダーブラケットに固定されている純正ボルト2本を外して純正ヘッドライト ASSY ごと取り外します。

※純正ヘッドライト ASSY は配線が繋がっているため完全に取り外しができません。キズが付かない様にウエスなどで覆い、邪魔にならない場所にマスキングテープなどで固定してください。

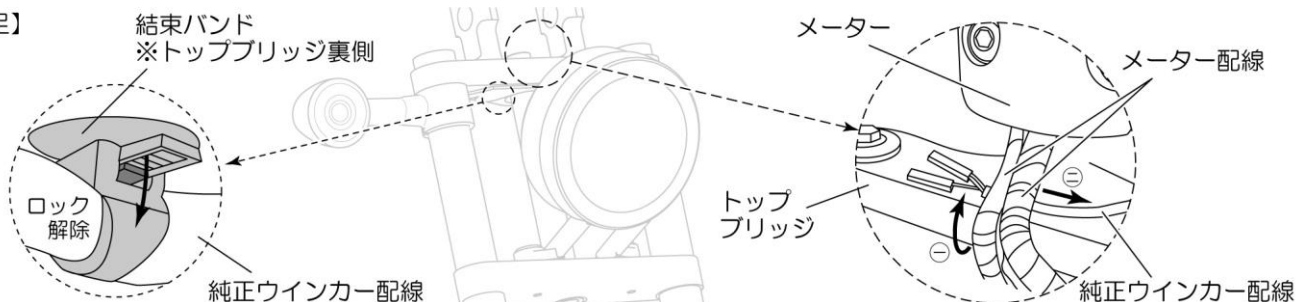
※取付作業後には光軸の調整を必ず行なってください。

C05. フロント左右の純正ウインカーを固定しているボルトを外し、純正ウインカーをイラストの位置迄まで下げてください。

※純正ウインカーは、そのままの状態では配線の長さに余裕がなく下げることができません。補足も参考に以下の作業を行なってください。



【補足】



※純正ウインカーの配線は純正ウインカーステー裏側に特殊な結束バンドで固定されております

※純正ウインカーの配線を⊙の様にトップブリッジの上に出すと外しやすくなります

C06. 手順C04の④と逆の手順で純正ヘッドライト ASSY を元の位置へ取り付けます。

C07. 純正ウインカーの配線の取り回しを行ない、手順C04の①～③で行なった作業を参考に純正ウインカーコネクタを、それぞれの対応した色に接続します。

※配線の取り回しは、以下のことに注意して取り付けを行なってください。

- ・ハンドルを左右に動かした際に配線が無理に引っ張られないこと。
- ・ハンドルを左右に動かした際に配線がどこかに挟まって潰れてしまわないこと。

C08. 純正ヘッドライトを取り付けします。

C09. 下イラスト【A】を参考に③ゴムシート4枚を長さ85mm程度にカットします。

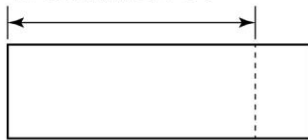
C10. 下イラスト【B】を参考に②フォークブラケット（4個）をフロントフォークに入る幅まで開きます。

※開き過ぎにご注意ください。②フォークブラケットのメッキ割れや、金属疲労による破損に繋がります。

C11. 下イラスト【C】を参考に③ゴムシートを②フォークブラケットに取り付けします。

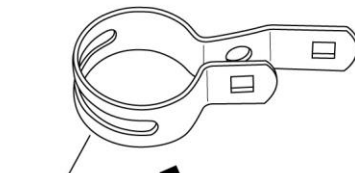
【A】：ゴムシートの加工

約85mmにカット

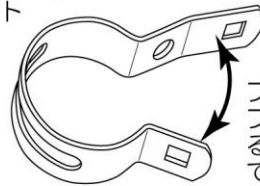


③ゴムシート

【B】：フォークブラケットの加工



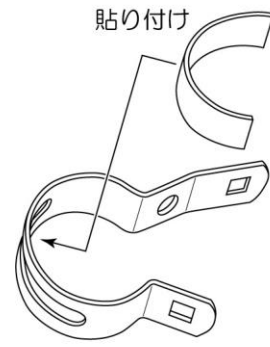
②フォーク
ブラケット



フロント
フォークが
入る幅まで
広げ
てください

【C】：AとBを組み付け

貼り付け



③ゴムシートを②フォーク
ブラケット内側に貼り付けます。

C12. ⑤特殊ボルト（8本）に銅コンパウンドなどを塗布します。

※ボルトの焼き付き防止用として塗布します。

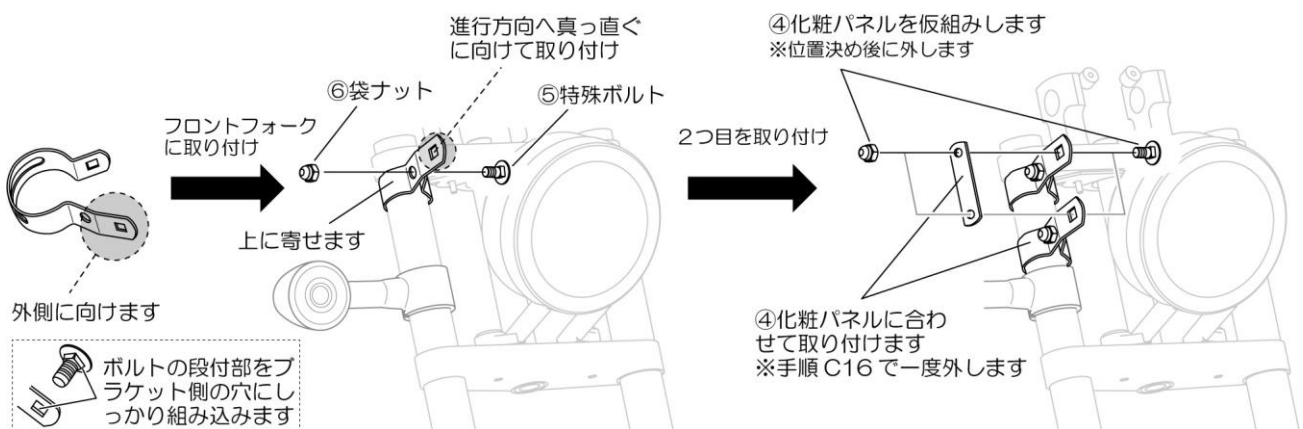


銅コンパウンドを塗布

⑤特殊ボルト

C13. 手順C11で用意した②フォークブラケット&③ゴムシートを向きに注意して左右のフロントフォークへ2個ずつセットし⑤特殊ボルトと⑥袋ナットを使って仮組みします。この時、④化粧パネルも使って2つ目の②フォークブラケットの上下の間隔も同時に調整して仮組みします。

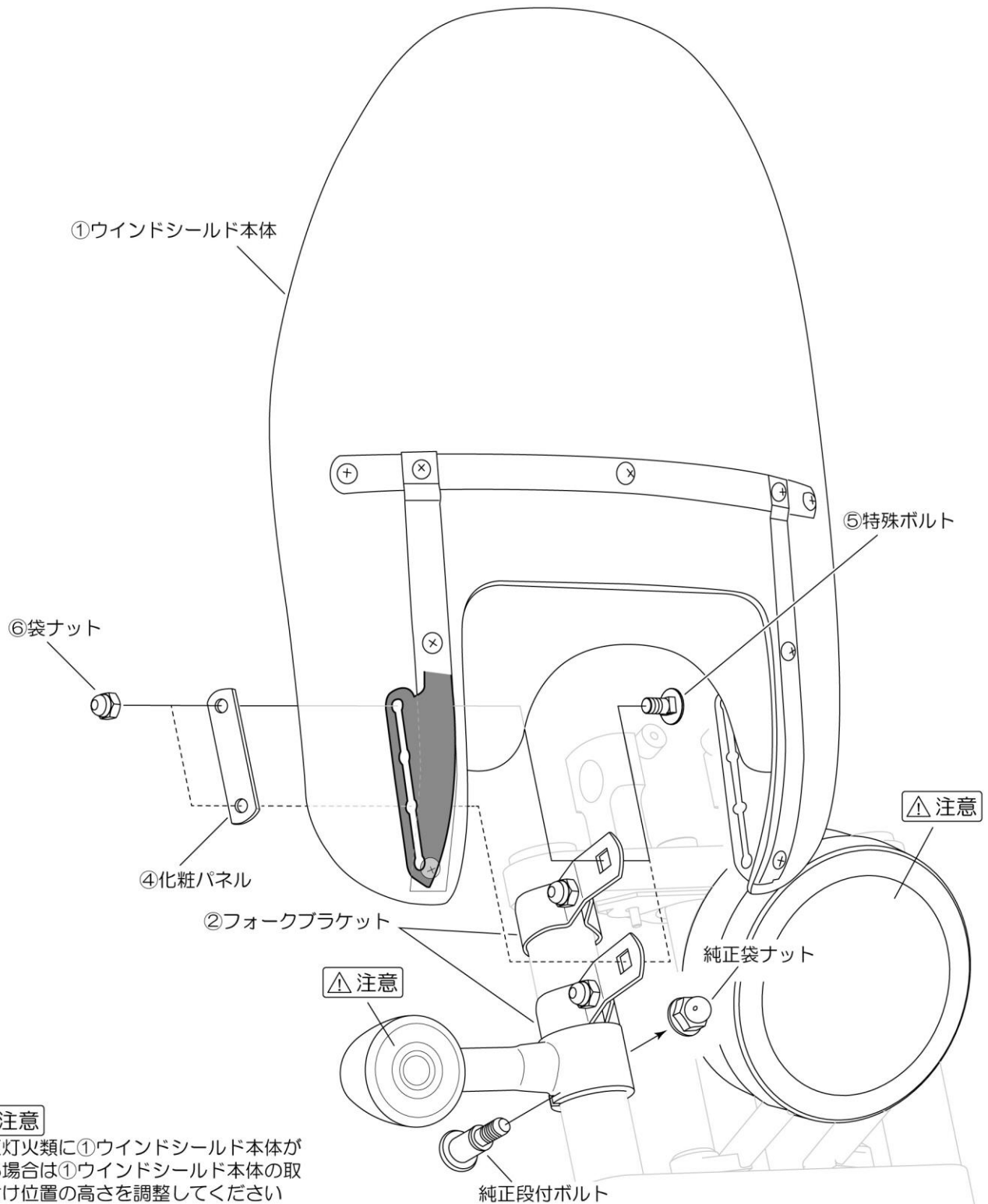
C14. ②フォークブラケットの向きを進行方向に対して真っ直ぐに調整して、フロントフォークへ固定します。



【取付方法C】

- C15. 純正ウインカーと純正段付ボルト、純正ナットを使い、純正ウインカーを任意の位置に取り付けます。
 C16. 仮組みした④化粧パネルを外します。
 C17. ①ウインドシールド本体と④化粧パネル、⑤特殊ナット、⑥袋ナットを使い②フォークブラケットへ仮組みします。

※②フォークブラケットと①ウインドシールド本体の位置が合わない場合は、各部を緩めて位置の調整を行なってください。



注意

純正灯火類に①ウインドシールド本体が被る場合は①ウインドシールド本体の取り付け位置の高さを調整してください

- C18. ①ウインドシールド本体が灯火類に被らない位置で調整してください。
 C19. 各部を確実に締め付けて、①ウインドシールドが動かないこと、その他に異常がないことを確認し、作業は終了です。

【取付方法C：完了】

【取付方法 D】REBEL250 (20) 【HARD】

※⑦～⑩の付属部品は使用しません。

D01. フロントブレーキレバー握った状態にしてフロント側を固定させます。

※別売のフロントブレーキロックのご使用をオススメ致します。

D02. ハンドルを左へ全開にきって車両を安定させます。

※フロント側が作業中にフラつかない様にハンドルをきっております。

作業状況に合わせて作業しやすい方向へハンドルを左右にきってください。

D03. 下イラストの①～③の作業を行ない、純正ウインカーの配線を純正ヘッドライトから取り外します。

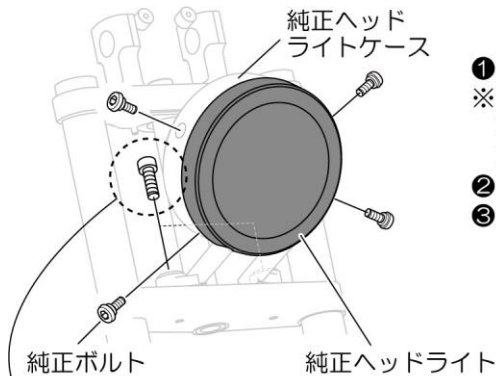
※純正ウインカー配線を取り外したあとは、純正ヘッドライトを元の位置へ仮組みしてください。

D04. 下イラスト④を参考に純正ウインカーの取り外し作業を行ないやすくするために、純正ヘッドライト ASSY を外します。純正ヘッドライト ASSY はキズが付かない様にウエスなどで覆い、邪魔にならない場所へ固定してください。

※本作業を行わずに純正ウインカーの取り外しができる場合は次の手順へ進んでください。

※本作業を行なった際は作業終了後にヘッドライトの光軸を調整してください。

※純正ヘッドライト ASSY はキズが付かない様にウエスなどを巻き保護してください。



①純正ヘッドライトを外しウインカーコネクタを外します。

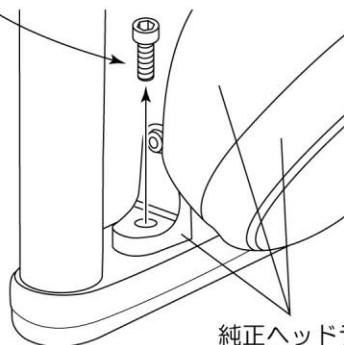
※コネクタ：ウインカー電源 = 水色 (右用)

コネクタ：ウインカー電源 = 橙色 (左用)

コネクタ：ポジション電源 = 白色 (2個)

②ウインカー配線をヘッドライトケースから抜きます。

③純正ヘッドライトを元の位置へ仮組みします。



■本作業は純正ウインカーの取り外しを、しやすくするための作業です。不要な場合は次の手順へ進んでください。

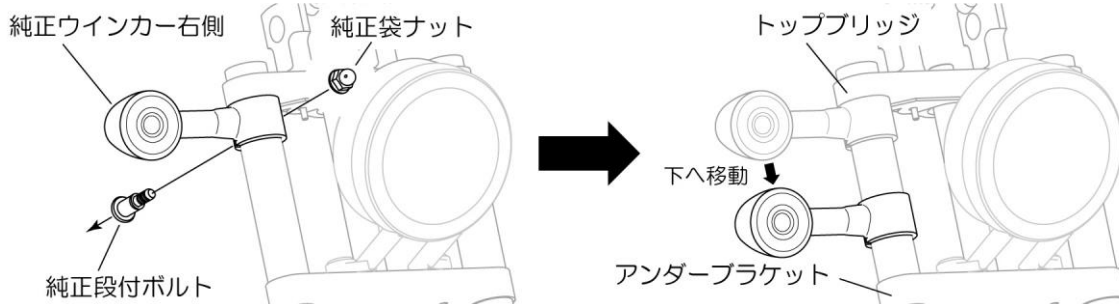
④アンダーブラケットに固定されている純正ボルト2本を外して純正ヘッドライト ASSY ごと取り外します。

※純正ヘッドライト ASSY は配線が繋がっているため完全に取り外しができません。キズが付かない様にウエスなどで覆い、邪魔にならない場所にマスキングテープなどで固定してください。

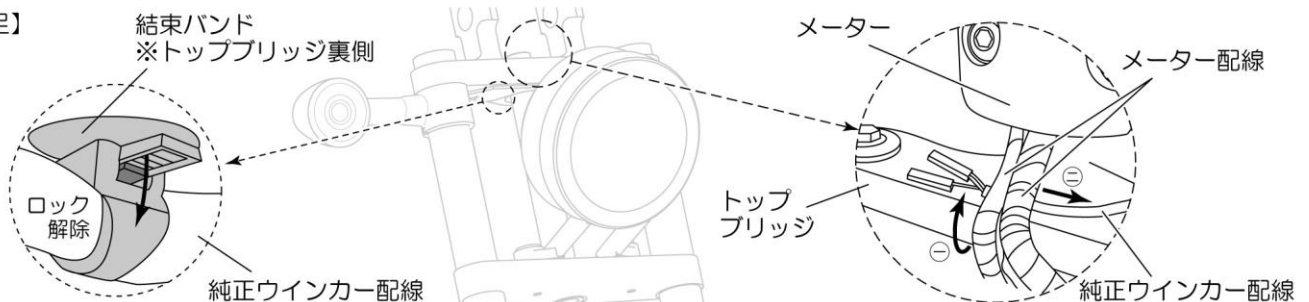
※取付作業後には光軸の調整を必ず行なってください。

D05. フロント左右の純正ウインカーを固定しているボルトを外し、純正ウインカーをイラストの位置辺りまで下げてください。

※純正ウインカーは、そのままの状態では配線の長さに余裕がなく下げることができません。補足も参考に以下の作業を行なってください。



【補足】



※純正ウインカーの配線は純正ウインカーステー裏側に特殊な結束バンドで固定されております

※純正ウインカーの配線を⊖の様にトップブリッジの上に出すと外しやすくなります

【取付方法D】

D06. 手順D04の④と逆の手順で純正ヘッドライト ASSY を元の位置へ取り付けます。

D07. 純正ウインカーの配線の取り回しを行ない、手順D04の①～③で行なった作業を参考に純正ウインカーコネクタを、それぞれの対応した色に接続します。

※配線の取り回しは、以下のことに注意して取り付けを行なってください。

- ・ハンドルを左右に動かした際に配線が無理に引っ張られないこと。
- ・ハンドルを左右に動かした際に配線がどこかに挟まって潰れてしまわないこと。

D08. 純正ヘッドライトを取り付けします。

D09. 下イラスト【A】を参考に③ゴムシート4枚を長さ85mm程度にカットします。

D10. 下イラスト【B】を参考に③ゴムシートを②フォークブラケットに取り付けします。

D11. 下イラスト【C】を参考に⑤特殊ボルト（8本）に銅コンパウンドなどを塗布します。

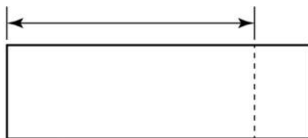
※ボルトの焼き付き防止用として塗布します。

【A】：ゴムシートの加工

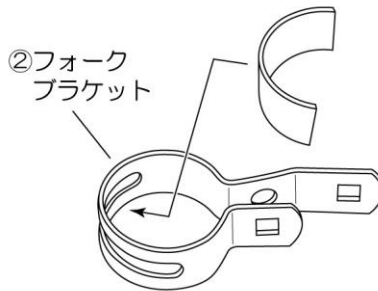
【B】：フォークブラケットの加工

【C】：ネジ焼き付き防止

約85mmにカット



③ゴムシート



③ゴムシートを②フォークブラケット内側に貼り付けます。



⑤特殊ボルト

銅コンパウンドを塗布

【下イラストを参考に⑤～⑨の作業を行なってください】

D12. フロントフォーク右側を固定している⑤⑥の純正ボルトを緩めるとフロントフォークが動くようになります。

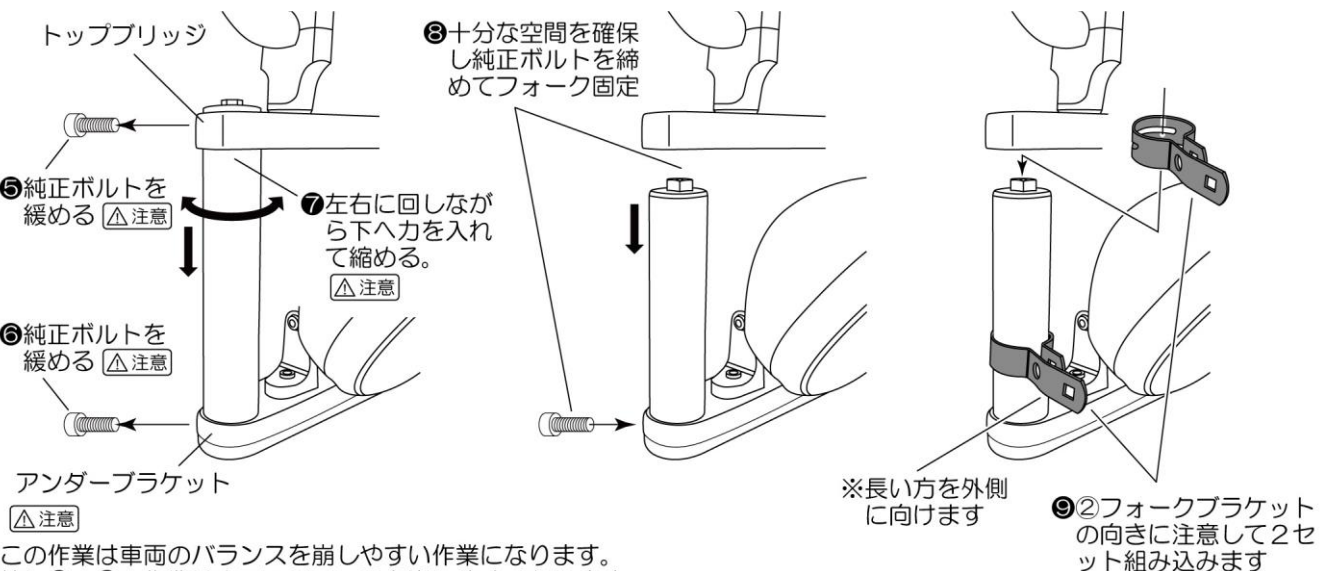
※ボルトを緩める際に車両がバランスを崩す恐れがございます。車両を転倒させない様に十分ご注意ください作業を行なってください。

※左側フロントフォークのボルトは同時に緩めないでください。フロントフォークが車両から脱落してしまい危険です。

D13. ⑦の作業を行ない、フロントフォークを縮め②フォークブラケットが入る空間まで縮めて⑧の純正ボルトを固定します。

※フロントフォークを縮める作業は力作業となります。手を挟んだり、車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。

D14. ⑨の作業を行ない②フォークブラケットの向きに注意して、フロントフォークへ2セット組み込みます。



この作業は車両のバランスを崩しやすい作業になります。特に⑤～⑦の作業は車両のバランスを崩しやすくなります。転倒には十分に注意して作業を行なってください。また反対側のフロントフォークは同時に絶対緩めないでください。

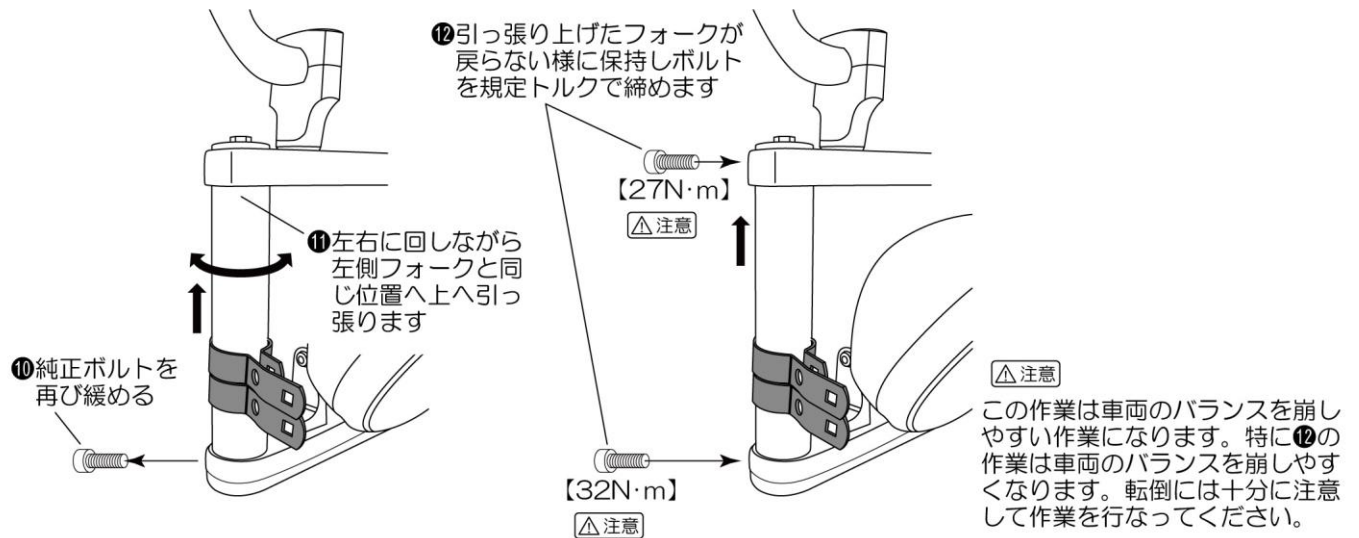
【下イラストを参考に⑩～⑫の作業を行なってください】

D15. 手順D13の③で固定した純正ボルトを緩めます。

D16. ⑪の作業を行ない、フロントフォーク左側と同じ位置に来るように上へ引っ張り、⑫の純正ボルトを規定トルクで締め付けます。

※フロントフォークを引っ張る作業は力作業となります。車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。

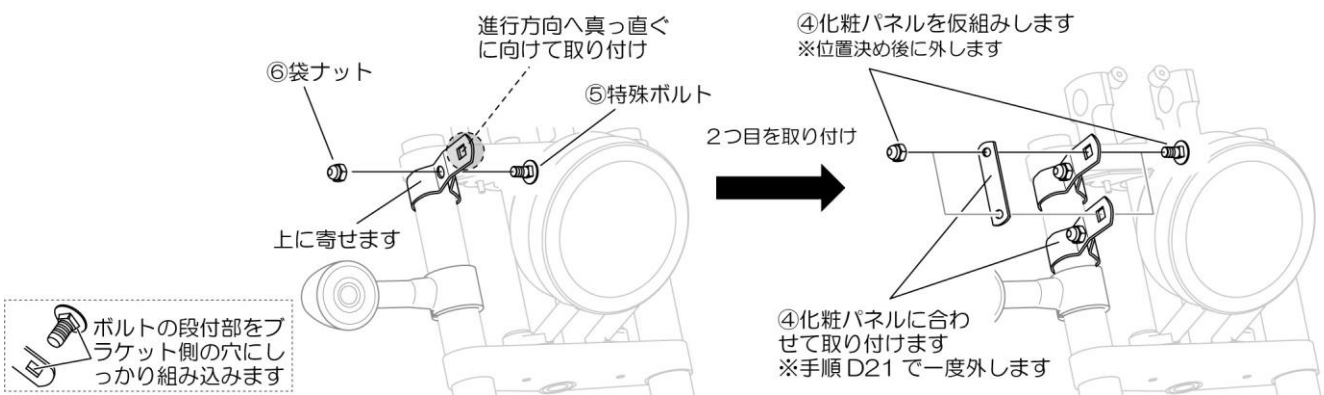
※純正ボルトを締め付け時に車両のバランスを崩して車両が転倒しない様に十分ご注意ください。



D17. 左側も同様に手順D12～手順D16までと同じ作業を行ない、②フォークブラケットを取り付けてください。

D18. 手順D11で取り付けした②フォークブラケット&③ゴムシートを向きに注意して左右のフロントフォークへ⑤特殊ボルトと⑥袋ナットを使い仮組みします。この時、④化粧パネルも使って2つ目の②フォークブラケットの上下の間隔も同時に調整して仮組みします。

D19. ②フォークブラケットの向きを進行方向に対して真っ直ぐに調整して、フロントフォークへ固定します。



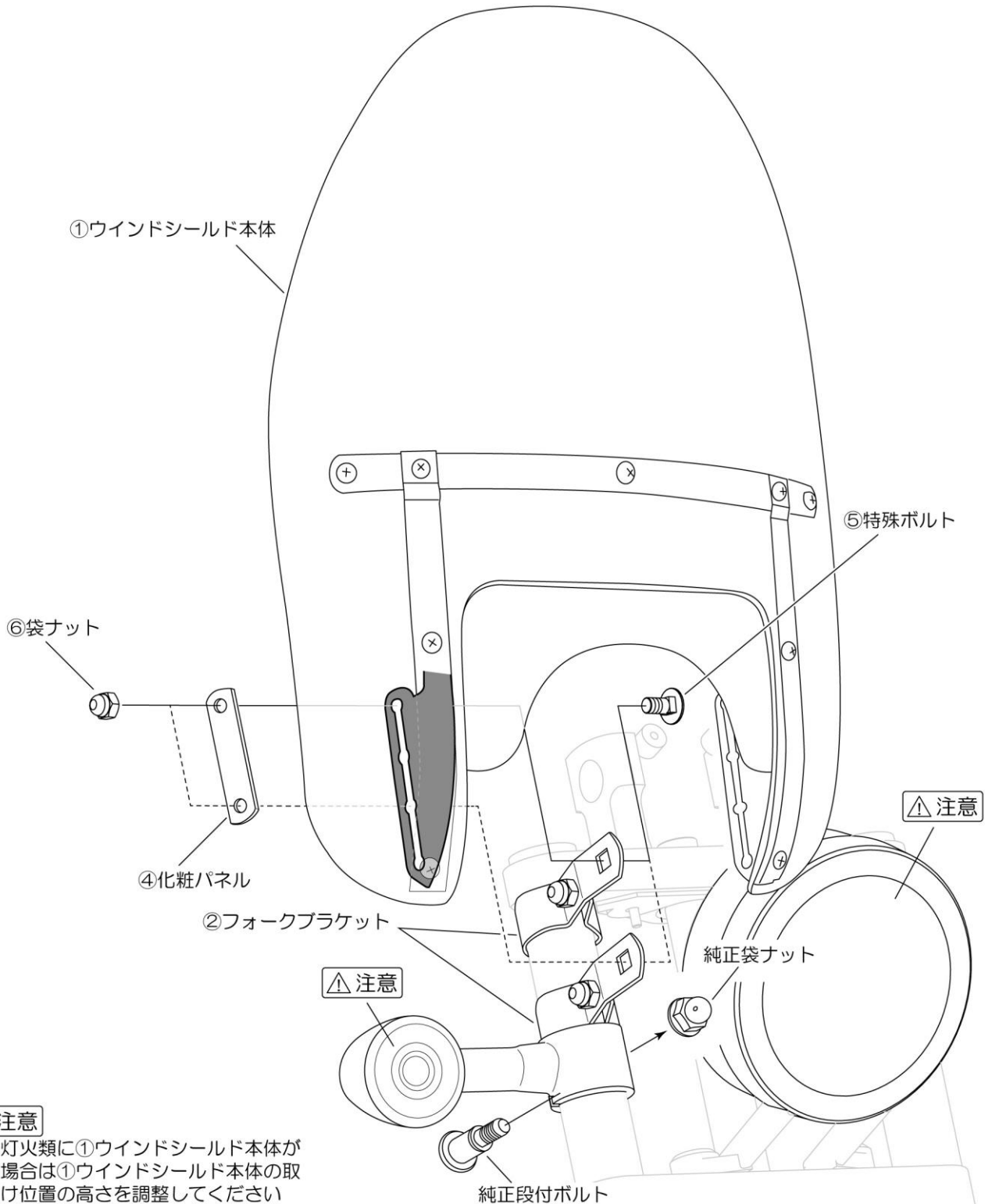
【取付方法D】

D20. 純正ウインカーと純正段付ボルト、純正ナットを使い、純正ウインカーを任意の位置に取り付けます。

D21. 仮組みした④化粧パネルを外します。

D22. ①ウインドシールド本体と④化粧パネル、⑤特殊ナット、⑥袋ナットを使い②フォークブラケットへ仮組みします。

※②フォークブラケットと①ウインドシールド本体の位置が合わない場合は、各部を緩めて位置の調整を行なってください。



△注意

純正灯火類に①ウインドシールド本体が被る場合は①ウインドシールド本体の取り付け位置の高さを調整してください

D23. ①ウインドシールド本体が灯火類に被らない位置で調整してください。

D24. 各部を確実に締め付けて、①ウインドシールドが動かないこと、その他に異常がないことを確認し、作業は終了です。

【取付方法D：完了】

実証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで